

第3章 使いはじめる前に知っておきたいこと

複数のソーシャルメディアに登録しておく理由

「私は「twitter」だけで充分だと思います。他のソーシャルネットワークにまで登録する意味はあるのでしょうか？」

よくそんなご質問をいただくのですが、私は「できれば複数のサービスに登録してください」とお返事しています。

「これ以上ネットにかかる手間を増やしたくない。いったい何のためにいくつも登録しなくてはならないんですか？」

ともよく聞かれます。私はひと言、こうお返事します。

「緊急時のためです」

以前、EINに何らかのハプニングが起き、まるまる1日以上もアクセスができない状態となりました。私はEINを通じてとある人にメールで取材をしていたので、かなり困りました。その人は共通の知人もいない、EINで知り合っただけの存在だったので、原稿の締め切りもあり、EINがつかないことに大変焦りました。

その時に、ふと思いついて、アメーバブログでその人のニックネームを検索してみました。すると、アメーバブログにも登録していたことがわかり、急遽アメーバメールでやり取りすることができ、事なきを得たのです。

インターネットでは、そのサービスを管理しているサーバーに何らかのトラブルが起きた時に、アクセスできなくなってしまうことがあります。トラブルだけでなく、メンテナンスが突然何時間も行われることもあります。急ぎの連絡を取りたくても、サイトが止まっていたらどうしようもありません。けれど、他のサイトにも登録してあれば、そちらでやりとりを続けられます。一種の保険のようなものですが、突発的事態が起きたときには複数のソーシャルネットワークワークへ登録しておくとお助かります。

忙しい人はそれぞれに記事を書き込んだり、更新していく必要はありません。「メインサイトはこちらです」というリンクをどこかに明記しておけば、みなさんそちらをクリックしてくれることでしょう。

メールアドレスは1つにまとめましょう

「いざ登録したけれど、今ひとつ合わなくて放置してしまった」

そんなケースも出てくるかと思います。合わないサービスがあるのは当然です。私も「少し使いづらいな」と感じたり、用がなくてあまり足が向かないサービスがあります。

ただ、「とりあえず登録してみた」という場合は、メールの受信設定を必ず「メールを受け取らない」と変更してください。または「メールを転送する」という設定にして、自分が毎日確実に見るメールアドレスに送るようにしましょう。時々しか訪れないサイトの場合、メールが来ても気がつかないことがあります。そうすると、大切なメールを受

け取っても臨機応変に対応できないのです

実際私も残念な経験をしたことがあります。Youtubeチャンネルを作り、私の小説を英語に翻訳したものを友人に朗読してもらった動画をアップしたのですが、その後は特にアップする動画もなかったのでYoutubeを放置していました。しかし3ヶ月後にふと気づくと、メールボックスにメールが入っているではありませんか！ 慌てて読むとなんと、差出人は海外の有名テレビ局！

「日本のケータイ小説に興味があります。あなたのビデオに興味を持ちました。来週日本に取材に行くのでお話を聞かせていただけませんか？」

とあったのです！ 本当に光栄なお誘いなのに、私が気づいたのは、この記者さんが日本を去った後……。チャンスを明らかに逃した私は、「なんてもったいないことをしてしまったのだらう」と泣くに泣けない思いでした。

ですので、あまり使わなそうなソーシャルネットワークのメールボックスは、思い切っ

て「メールを受け取らない」という設定にしてみてください。そのかわり、海外の方でもアクセスしやすいソーシャルネットワークのアドレスをリンクしておきましょう。「Twitter」や「facebook」なら外国の人とやりとりしやすいはずです。

私の場合は、大抵「御用があるかたは私の「Twitter」にご連絡ください」と、プロフィールページに添えています。「Twitter」は必ず毎日アクセスするので、メッセージを見逃しませんから。

余計なメールがこないように設定しておきましょう

「facebook」や「アメーバ」や「Twitter」などでは、登録するとさまざまなことのお知らせメールが来て最初はあまりの量にびっくりすることがあります。これは設定をいじれば自分の必要な内容のみ連絡がくるように調整することができます。「facebook」が一番多くのメールが来るようなので、設定の方法をここに記しておきますね。

「facebook」の場合「アカウント」↓「アカウント設定」↓「お知らせ」を選びます。

すると、どんな時にお知らせメールを来る設定にするかを選ぶことができます。その項目だけで数十はあるので驚きです。私は次の2つの時のみ、お知らせメールが来るというシンプルな設定にしています。

- メール（メッセージ）が来た時
- ウォールへ書き込みがあった時

必要最小限のものにしておくのがいいと思いますが、最低限メール（メッセージ）のお知らせは受け取っておいたほうがいいでしょう。

140字で自己紹介を書いてみましょう

大抵のソーシャルネットワークには、プロフィール欄があります。

「Twitter」などのつぶやき系は、プロフィール欄も200字以下程度で、かなりコンパクト

トに自己紹介しなくてはなりません。大変短いですが、わずかな文字数しかプロフィールを書けないソーシャルネットワークはいくつもあります。なんとか短い文章で理解していただけるようまとめるのも、また楽しみのひとつです。

ぜひ一度、Twitterなどと同じ文字数の140字で自己紹介を書いてみてください。プロフィールにいくつもの職業や経歴を書いている人ほど、140字では全然おさまらなくて困ることでしょう。140字で伝えるためには、どの部分をカットしていけばいいかを考えなくてはなりません。それは結果として

「自分にとって何が最も必要なことなのか」

「自分とはひとこと言えばどんな人間なのか」

ということを考える良いきっかけとなります。あれもこれもとアピールしたくなる気持ちを抑え、要所要所だけを伝えていくことは、素晴らしい文章修業となります。

プロフィールで気をつけたい6つのこと

私はプロフィールを登録する時にいくつか気をつけていることがあります。

①名前はどこでも同じものを

私の場合、「Twitter」もFacebookもYoutubeもアメブロもみな「micanaitoh」というIDにしています。統一しておく、「ひょっとして内藤さんはアメブロにいたのかなと思って検索したらやっぱりいましたね」などと探してもらいやすくなるのです。前述のようにどこかのサイトが停まった時にも役立ちます。

②プロフィール画像も同じものを

名前と同様の理由で、プロフィール画像もできるだけ同じ感じのものにしましょう。顔写真だけで「あっ、内藤さんだ」と見つけてくれる人もかなりいます。

多くのソーシャルネットワークでは、その人のお友達のプロフィール画像がズラリと並

びます。そのため、プロフィール写真の認知度はすごく高いのです。これを活用しない手はありません。

③プロフィール画像は笑顔か知的かに

ソーシャルネットワークは友達をつなげていくもの。なので、多くの人があなたに「お友達になりたいな」と望めば、どんどんお友達が増えていきます。やはり強いのは笑顔の写真。そしてその次は知的な写真に友達申請が行くようです。

④自分が何の仕事をしているかを明記する

私の場合、冒頭で「作家です」と職業をはっきり書いています。これで皆さんにも安心していただけています。

⑤ワンテーマに絞る

私の場合は「電子書籍に強い作家」という感じのプロフィールにしています。他にもいくつか仕事していますが、それはあえて書かず、ソーシャルネットワークに登録している方々が興味を持ってくれそうな「電子書籍」というキーワードを組み込んでいるので

す。あれもこれもと詰め込みすぎるよりも、シンプルな自己紹介にしましょう。

⑥メールアドレスは非表示に

プロフィール設定画面はしっかり確認しましょう。初期設定では、生年月日や住んでいる街、それからメールアドレスが「公開」設定になっているかもしれませんが。

以前、私はFacebookでメールアドレスが「公開」のままになっていた、慌てて変更したことがあります。メールアドレスがなくても、ソーシャルネットワークのメッセージ機能で大抵は事足りるので大丈夫ですし、見ず知らずの人にまでメールアドレスが目に入るようだとかえって不用心です。非公開設定になっているかどうかはしっかり確認を。

トレードマークで一瞬でわかってもらえるように

ソーシャルネットワークを活用するために、大変便利で時短になるのが、トレードマークです。ぜひひとつ「マイマーク」となるものを持ち、友人知人にも知っていただきましょう。顔文字もしくは漢字をひとつ、自分のトレードマークもしくはトレード漢字にし

ておくと、後日かなりラクになります。

たとえば私のトレードマークは (IV Δ IIA) ↑ という顔文字です。

普段からこの顔ばかりを使い込んでいます。もちろん辞書登録もしてあります。「き」と打つとこの顔が出てくるようにしてあります。

困った時は (IV Δ IIA) ↑:

お願いをするときは (IV Δ IIA) ↑

ウイנקをするときは (IV Δ IIA) ↑ ☆

などと多少のバリエーションがありますが、読者さんたちは

(IV Δ IIA) ↑ この顔といえば、内藤みか

とおぼえてくれます。

とても便利なことに、マークが認知されると、それだけでコメントが成り立つようにな

ります。

「とても忙しい。でも何かひと言かけたい。でも思い浮かばない。でもブログを読んだと伝えたい……」

そんな時に私はただ「(IV Δ IIA) ↑」だけを書き込みます。それで許してもらえます。一種のスタンプのようなものです。コメントを書く時間がない時には大変助かるんですよ。

実名にする？ 会社名を出す？

ソーシャルネットワークに登録するにあたって、よく相談を受けるのが「実名にしたほうがいいですか？ 会社名は出したらまずいでしょうか」ということです。

会社名については、会社ごとの考え方があってなんとも言えないのですが、自分の名前については「できれば実名がいいと思います」とお答えしています。

私の場合、「内藤みか」はペンネームで実名とは違うのですが、仕事を依頼されるほうの名前を使うようにしています。「ビジネスネーム」とでもいえばいいのでしょうか。仕事の間では誰もが私を「内藤さん」と呼ぶので、私は「内藤みか」で登録しているのです。みなさんも実名とビジネスネームが違うのであれば、ビジネスネーム、つまり名刺にプリントしているほうの名前を優先するようにしてください。

なぜ実名やビジネスネームがいいかというと、知名度アップにつながるからです。

ニックネームで活動して、もしも人気が出ても、有名になるのはニックネームです。もちろんそれでいい人もいるでしょうけれど、「やはりビジネスという目的でもソーシャルネットワークを使いたい」とお考えなら、よほどやましいことでもない限りは仕事で使っている名前を選ぶのがいいでしょう。

転職することになっても、実名（ビジネスネーム）を出しておいたおかげで、たとえば昔のお取り引き先だった会社の部長さんがFacebook上で名前を検索して見つけ出してくれる、ということもあります。人望が厚い人ほど、実名（ビジネスネーム）で出したほうがトクすることが多いでしょう。